

感染再拡大防止策について（提言）

東京 iCDC 専門家ボード

令和3（2021）年3月

リバウンド防止のための体制強化

～基本的対処方針等諮問委員会より7つの提言～

- ①国・専門家とともに一体感のあるメッセージを発信【広報広聴】
- ②軽症・無症状者に焦点を当てた検査【モニタリング検査】
- ③疫学情報の集約・分析強化と見えにくいクラスターの探知【疫学調査】
- ④変異株用PCR検査の迅速な実施と変異株事例への積極的調査【変異株】
- ⑤感染拡大の予兆が見られた場合の迅速な対応【流行分析】
- ⑥高齢者施設職員に対する定期的検査と感染対策チームの派遣【集中的検査】
- ⑦医療提供体制・公衆衛生体制の強化【体制強化】

戦略的検査の実施

<これまでの主な取組>

○行政検査（主に疑い患者や濃厚接触者を対象）として

・通常時 約3.7万件／日

・最大稼働時 約6.8万件／日の実施体制を確保

○自費検査（主に無症状者を対象）については、幅広い対象へ

PCR検査等を実施する区市町村や施設管理者等の取組を支援

○高齢者施設等における集中的検査を3月中に実施予定



感染再拡大の防止に向け、さらなる取組の強化

戦略的検査の実施

< 今後の方向性 >

医療機関・高齢者施設等での クラスター発生予防

【検討施設】

入院重点医療機関、療養病床を有する病院、高齢者施設等（優先して実施する施設を検討）

【対象者】

施設従事者・患者等



【方法】

定期的スクリーニング検査（PCR、抗原）

【スケジュール】

3月中旬～ 試行

3月下旬以降 順次拡大



繁華街・特定の地域等での モニタリングによる早期探知

【検討地域】

都内繁華街エリア

【対象者】

飲食店従事者など

【方法】

唾液PCR等

【スケジュール】

3月中下旬～



・重点的(地域集中的)PCR検査

【検討地域】

事業所・学校・駅周辺等

【対象者】

一般成人など

【方法】

唾液PCR(無作為)等

【スケジュール】

3月中下旬～



変異株の監視体制の強化

<これまでの主な取組>

- 都内の変異株の発生状況を把握するため、いち早くスクリーニング検査を開始
(健安研 12月～、民間検査機関 2月～)
- これまでに2,700件を超える検査を実施し、PCR陽性12例が判明



<今後の方向性>

- 民間検査機関でのスクリーニングをできる限り拡大
- 保健所から集団感染等の検体を積極的に回収するスキームを確立
- 4月までに累計4,000件を目指して検査規模を拡大

保健所の体制強化・積極的疫学調査の強化

<これまでの主な取組>

- 保健所へ都職員、積極的疫学調査を支援するトレーサーを配置
- 陽性者への療養等の支援
 - ・ 休日夜間を含む、入院調整の実施。後方支援病院とマッチング
 - ・ 宿泊療養の体制強化、陽性者への聞き取りの実施を試行
 - ・ 自宅療養者に対するフォローアップ体制の構築
- 院内・施設内感染等発生時の「TEIT・感染対策支援チーム」による支援



<今後の方向性>

- **自宅療養者の容態急変時の対応などフォローアップ体制の強化**
- **感染予防対策・集団発生時のリスク評価等の参考様式を保健所に提供**
- **隠れた感染源の早期探知のため発症前の行動歴調査の徹底**
- **地域感染拡大の予兆が見られた際の積極的な検査**